



日研生E-だより 第11号

筑波大学 日本語・日本文化学類

2016 年 12 月 13 日

修了生のみなさん、お元気ですか。2006 年に『日研生 E-だより第 1 号』を発行して以来、今年第 11 号をお届けすることになりました。この 11 年の間に、本学類で受け入れた日研生は 132 名にのぼります。そして今年の 10 月に新たに日研生 6 名を迎えました。

《2015 年度日本語・日本文化研修留学生の修了式》



左から:

- ・シンタ(インドネシア)
- ・チー(インド)
- ・テレザ(チェコ)
- ・アニヤ(スロベニア)
- ・アイン(ベトナム)
- ・ハイン(ベトナム)
- ・ジェーニャ(ロシア)
- ・アンドラ(ルーマニア)
- ・バルガウ(インド)
- ・デニッセ(キューバ)
- ・コム(インド)
- ・クラ(ハンガリー)

左上: ☆ヒョウ(中国) ☆オーン(タイ)

2016 年度日研生の出身国は次の通りです。

出身国名	人数
スロベニア	2 名
ウクライナ	1 名
ベトナム	1 名
タイ	1 名
ウズベキスタン	1 名
計	6 名



2016 年 9 月 29 日 2016 年度日研生オリエンテーション

■ 2015年度担任の清登典子先生と副担任の小野正樹先生からメッセージをいただきました！

清登先生



皆さん、お元気ですか。担任をしていた清登典子です。

9月9日の修了式が、昨日のことに思えるのに、筑波はもうすっかり寒くなり、コートを着る季節になりました。時々、14名の皆さんが今どうしているかなあ、と思います。一緒にバスで旅行したり、授業で発表してもらったり、修了論文の発表会など、いろいろなことがありましたね。思い出の中のどんな場面でも、皆さんはとってもいい笑顔で心から楽しんでいて、同時によく頑張っていたと思います。そして、次に来る日研生のために、いろいろな意見やアドバイスを残してくれましたね。そのことを本当にうれしく思っています。

9月の末には、新しい日研生6名を迎えました。皆さんが残してくれた意見やアドバイスを生かして、私たち教員も日研生たちをサポートしていきたいと思っています。

皆さんも時々、日日学類のHPで日研生の様子をのぞいて、応援してくださいね。

では、また皆さんと会えるのを楽しみにしています！

小野先生

こんにちは。みなさんの副担任をしていた小野正樹です。みなさん、その後元気にしていますか？

皆さんの帰国と入れ替わりに、9月の末には新しい日研生6名が来日し、私はその担任をしています。さっそく皆さんが書いた修了論文を、今年の日研生のみなさんにもお渡ししました。みな一生懸命に読んでいます。

11月には、昨年と同じく、国立歴史民俗博物館や、成田山にも行ってきました。皆さんも、ぜひ日々学類のHPで日研生の様子を覗いてください。

筑波大学で、または世界中のどこかで会える日を楽しみにしています。



■ 2015年度日研生に聞きました！

今年9月に修了した日研生14名に次の質問をしたところ、9名の方からお返事をいただきましたのでご紹介します。

1. あなたが日本/筑波大学で一年間日研生として過ごした感想や、心に残る経験・思い出などについて教えてください。
2. あなたの帰国後の現在の様子を教えてください。(近況報告、帰国後に日本での生活を振り返って思うこと、など)

■ ボサレ・コマル・ラジェンドラ さん（インド出身、当時ティラクマハラシュートラ大学在籍）

BHOSALE, Komal Rajendra

1. 日本に留学しに来る前に、日本と言えば、着物、相撲、茶道、華道、和食、地震、電化製品の有名な国という印象しか持っていませんでした。日本で一年間生活をしてみて、私が感じた日本について語りたいと思います。まず、列車は、時刻表通りに走ります。新幹線を利用すれば、数時間で遠いところまで行けます。ドアは正確に決められた場所で開きます。日本は伝統と現代が興味深く混在している国です。町では、着物の女性の横に、スーツ姿の女性が歩いています。高いビルの脇に、古い居酒屋があります。日本人はとても丁寧で礼儀正しいです。



日本人同士でも、外国の方に対しても、よく頭を下げて挨拶をします。何かに同意できない時でも、人にノーを言う代わりに、何か別の方法で考えを伝えようとしています。違う考え方が生じて、それを乗り越えて、お互いに配慮しながら、よりよい調和を求めています。また、日本人の外国の方に対する友好的な態度と助けようという姿勢について、私はありがたく思っています。

日本留学時代に、勉強は忙しかったが、休みに外国人のクラスメートやインド人の友人と日本中を旅行し、たくさんの楽しい思い出を作りました。つくばでは、春や秋の景色がとても素敵で、よく友人と散歩しながら写真を撮って、休日を過ごしました。また、時間がある時、部屋に中国人やベトナム人の友人を誘って、インド料理を振る舞ったり、友人を訪れたりして、楽しい時間を過ごしていました。

留学中に、色々なことを初めて体験をしました。初めて納豆を食べ、舞子さんのメイクをし、カラオケに行き、浴衣を着て日本人の友人と花火大会に行きました。日本の読書文化も私の印象に残りました。至るところで本を読んでいる日本人がいました。私も読書を始めて、留学中に殆どの時間を学術書や漫画に費やしました。



大学の授業は面白かったです。必修科目の「日本の地理」で、筑波山に出掛けました。体育の水泳の授業で、泳げるようになりました。春学期に入ったら、指導教員と論文チューターの指導のもとで、修了論文を書き始めました。日本に行く前に、論文を書いたことがなかったので、最初に論文を書くのが泣きたいほどとても辛かったです。しかし、指導教員と論文チューターがとても優しく指導してくださったおかげで、無事に論文を書き終わりました。

日本で過ごした時間は、自分の人生の中で掛け替えのない宝物でした。色々な経験を通じて成長してきました。一緒に日々を共有してくださった皆さんに心の底から感謝しています。また、再会することを楽しんでいます。

2. 現在、出身地であるプネーで、ウィルス対策ノートンセキュリティソフトの会社であるシマンテックで、アソシエイトコンサルタントとして仕事をしています！



■ フリャン・アニヤ さん（スロベニア出身、リュブリャナ大学在籍） FURJAN, Anja

1. 日本で住んでいた一年間の全部の思い出が大切ですが、やはり一年間の一番楽しい時は友達と旅行をした時でした。日本に来る前に、もちろん日本の日常生活を経験したかったが、一番見たかったことはやはり日本の美しさでした。ですので、友達と富士山に登ると決めた時、すごく楽しみにしていました。富士山に登るのは人生に絶対に経験したいことでした。他の山をあまり登ったことがなかったので、ちょっと不安でした。登り初めの時、天気は良かったが、登っている最中に大風が吹いて、雨も降りました。富士山は、アルプスをはじめ以前から知っていた山と全然違いました。霧に包まれた火山は宇宙みたいでした。悪天候の中、小屋にたどり着きましたが、夜に台風になりました。そのせいで朝になって、空が曇っていて、日の出が見えませんでした。しかし、雲が通り過ぎた時、天辺から日が見えたので、最高の経験をしました。



2. 帰国後すぐにスロベニアの大学で勉強を続けました。一人で大学の寮に住んでいて、日本に行く前の生活とほとんど同じです。家族も、友達も、国も、全部は変わらなかったが私だけが変わりました。日本に住んでいた時の経験が私の考え方を少し変えてしまいました。そのせいで、日本からスロベニアに戻ったばかりなのに、今はもう一度日本に行きたくくなりました。その上、今は日本の友達と過ごした時が懐かしく思って、友達に会いたいです。他の日研生とインターネットで話し続けたので、すでに会う予定をしました。



■ **ロ・ヒョウセン さん（中国出身、大連大学在籍） LYU, Bingxuan**

1. 筑波大学での一年間は本当に有意義に過ごしました。母国に戻ってから、筑波大学で勉強したことがどれほど役に立ったのを知りました。この一年間、最初、私は単位のためにたくさんの選択科目を選びましたが、先生の授業を聞けば聞くほど面白いと感じました。筑波大学ではたくさんの授業が設けられており、自分の趣味に合わせた授業が選べるのは、私が最も感心したことです。



また、寮での生活も快適で、チューターたちもとても親切で、一年間無事に過ごしました。論文のため、結構悩みましたが、振り返ってみれば、私が日本で得た一番大きな収穫は論文だと思います。また、授業を多めに取っていたため、学期末に、レポートとテストの準備や論文の校正に取り組んでいて、とても忙しかったが、そのような毎日を今考えてみれば、充実した良い体験で、良い思い出だと思います。

2. 今は就活に励んでいます。自分のやりたいことを仕事にするのは大変ですが、もう一息頑張ろうと思っています。もちろん日本語に関係のある仕事に就きたいです。

日本での生活、一年間しかなかったですが、本当に視野が広がりました。日本にいながら、日本を見る、感じる事がどれほど貴重な機会か、私にこのチャンスをくださった人々、先生たちに感謝しています。

これからも日本で勉強したことを生かしながら、頑張っていきたいと思います。



■ **ジェイン・プラチ さん（インド出身、ジャワハルラー・ネルー大学在籍） JAIN, Prachi**



1. 日本に住んで、日本人と接して、日本で学んだ日本の文化は、今まで自国で勉強してきた日本の文化と違うことが分りました。この一年間、友達と日本の様々な地方に旅行に行きました。十一月にデニッセさんとコムさんと一緒に日光に行ったり、お正月に中部地方に行ったり、春休みに京都・大阪に行ったりしました。そして、夏休みにもう一度インド人の友達と京都・大阪に行きました。

日本に来て、初めにしたことがたくさんあります。インドを離れたとき、初めて飛行機に乗ったので、家族とのお別れより飛行機に乗る

のが心配でした。そして、新幹線に乗ったり、海を見たり、雪を見たりするのも初めてでした。それだけでなく、他国に住むのも初めてで、一人暮らしをするのも最初には困ったことがありました。日本に行って、ゴミ処理をしたのが初めてでした。久しぶりに自転車に乗るのが難しかったです。

日本で過ごした一年間は一生忘れないと思います。日本でできた仲間は非常に大切に、みんなと過ごした時間はあまりにも大事で、離れた時、涙が止まらなくなりました。

2. 現在、私はネール大学で修士課程一年生として、主に日本の文学を勉強しています。この学期では古典文学と民俗学を中心に勉強しています。日本から帰国後一年間ぶりに、インドにいる家族や友達などと再会してうれしかったです。そして、久々おいしいインド料理を食べたのも楽しかったです。しかし、日本で過ごした時間、特に筑波大学で過ごした時間は大切な思い出で毎日頭に浮かんできます。もし、機会があったら、もう一度日本に行きたいと思っています。



■ **ゴ・ハイン・ティ・ミ さん（ベトナム出身、ハノイ国家外国語大学在籍）** NGO, Hanh Thi My

1. 来日したばかりの時、たくさん泣きました。先の一年間のことを考えると、非常に怖かったです。しかし、一ヶ月になろうとした頃、日本の生活に慣れて、友達もできて、日本のことに対して怖く感じる事がなくなり、その代わりに、毎日周りの世界を楽しみながら過ごしてきました。

日研生として日本語日本文化学類に所属したので、いろいろ体験ができました。日研生のみなさんと一緒に旅行したり、勉強したり、食べに行ったりしていました。今、思い出すと本当にその頃にもう一度戻りたいです！

以前、ベトナムのことしか知らなかったが、日本に行ってから、私が住んでいた世界がだんだん広くなりました。日本のことだけでなく、ほかの国のことも知るようになりました。なぜかという、日本に行って日本人のみならず、世界各国の友達もできました。それは私にとって何より素晴らしいことでした。インド人のコムちゃんがインド料理を作ってくれたり、遠くから来たキューバ人のデニッセちゃんが踊りを教えてくれたり、ハンガリーのクラウディアちゃんがいつも相談に乗ってくれたり、そのようなことは私にとって宝物のような思い出です。

来日できたのは本当によかったと思っています。ずっとずっとこの一年間のことを忘れられません。いろいろなことを体験したり、勉強したり、遊んだりして、今思い出したら、自分は少し成長したなと感じていると同時に、心からありがたく思っています。この文章を通して、筑波大学をはじめ、日本語日本文化学類の先生方々に心からの感謝を伝えたいと思います。日本と筑波大学のことはいつもまでも私の心に存在しています。



2. 帰国後大学4年生の生活を送っています。今は大学で勉強しながらIT企業でインターンシッププログラムに参加しています。ベトナムに帰って一か月後、日本料理が食べたくなくなりました(笑)。現在、ベトナムと日本は、関係が良さそうなので、普通のスーパーでも日本製の食べ物や製品なども簡単に手に入ります。そのような日本製の製品を見ると、いつも日本のことを思い出します。日本にいたとき、いろいろ旅行したので、よくベトナム人の友達に、日本のことを紹介しています。特に、つくばのことです。つくばにある筑波大学を選んで本当によかったと思います。

■ **ファルコン・ロドリゲズ・デニッセ さん（キューバ出身、ハバナ大学在籍）** FALCON RODRIGUEZ, Denise

1. 筑波大学で過ごした一年間で、私は日本語が上手になった上、人間としても成長したように感じます。勉強や遊びなどを支えてくれた人達がいて、とてもよかったと思います。そこで、時間が経つにつれて、家族のように新しい絆が生まれました。日研生と生活をしていて、日本の文化はもちろん、様々な国の文化も勉強することができました。その上、日本とキューバに対する自分の意見や感想は何回も変えて、両国への知識を深める機会が与えられました。日研生と一緒に日本のあちらこちらへ旅行したり、大学で日本国の地理や言語や文学などについて勉強したりしたことによって、日本をよりよく理解することができたと思います。この経験は、修了論文執筆に非常に大切だったと思いました。

2. 帰国してから、どれほど日本が大事に思っているのかが分かりました。そして、私が皆さんを心から会いたいという気持ちを、ぜひ筑波大学で作った友達や応援して下さった先生達に知ってほしいです。これからも日本での経験を大切に思い続けて、日本語の勉強に頑張りたいと思います。



■ **アールキ・クラウドディア さん（ハンガリー出身、カーロリ・ガーシュパール大学在籍） ARKI, Klaudia**



1. 日本で過ごした一年間は、すごくいい経験になりました。最初はいろいろ大変でしたが、だんだん新しい生活に慣れつつ、毎日が楽しくなってきました。様々な国から来た留学生たちと日本人のみなさんに出会えて、すごくうれしく思っています。おかげで、そのときまであまり知らなかった国の文化や習慣について学ぶことができたし、いい友達もたくさんできました。母国の話をしたときは、みんなが興味を持ってくれてうれしかったです。

授業も全部おもしろくて、いい勉強になりました。日本語の授業はレベルによって分けられているので、みんなが自分にふさわしい授業を受けて、上達することができるのはとてもいいことだと思います。

皆さん、この一年間、いろいろお世話になりました。ありがとうございました。また会いましょう！

2. 現在、大学に通いながら仕事をしています。できれば日本に戻りたいので、そのためにいろいろ頑張りたいと思います！



■ **シンタ・クマラサリ さん（インドネシア出身、インドネシア大学在籍） SHINTA, Kumalasari**



1. 筑波大学で勉強した一年間、色々な授業に参加しました。面白い科目がたくさんありました。日本以外の国からの友達も来て、色んな思い出がありました。

一番印象に残ったのは、筑波大学の環境が良いことです。とにかく空気がきれいです。ジャカルタに帰った時は、ちょっと体調を崩しました。自転車で大学に行くのはインドネシアで考えられません。お蔭で、健康管理ができたと思います。次は季節の美しさです。春、私の部屋の窓からの景色が桜でした。部屋から桜が見えて、とても嬉しかったです。

2. 現在、私は卒業論文を書いています。日本の広告のポップ文化について書いています。日本への留学がとても貴重な経験になったと思います。大学の同級生の中で、私と同じ時期に日本へ留学した人がいました。その人は、日本の優れた技術や国民性に、大変カルチャーショックを受けていたようで、母国のことについて色々と不満を言い出しました。でも、私は、日本で一年間生活してみて、日本で勉強したことを、将来どのようにインドネシアをより良くするかに役立てたいと思っています。

大学を卒業してから、色々な経験をして、また日本に行く機会があったら、大学院に進学したいと思います。日本の皆様は、もしインドネシアに来る機会があったら、是非連絡してください。



■ **ヴェルカ・テレザ さん（チェコ出身、カレル大学在籍） VELKA, Tereza**



1. 人生は挑戦だと思います。日本にいた間に、挑戦を避けることがありませんでした。文化の全く異なる国に留学すること自体が大きな挑戦でした。しかし、このおかげで、様々なことを学んだり、経験することができました。修了論文を書くことから富士山に登ることまで、貴重な経験となりました。しかし、日本語を勉強し、修了論文を書きながら、日本人と外国人の両方と幅広く交友関係を築くことができたことが一番うれしかったです。また、様々な方のお世話になり、手伝ってくれた人も多くて、感謝の気持ちでいっぱいです。

日本へ行く前、私は日本語や日本文化、そして日本社会のことについて勉強しており、日本に行くことに憧れていました。実際に日本を訪れて自分の目で日本の美しい自然を見たり、本当の日本料理を食べたり、日本語で日本人とお話をしたりすることができて、日本をますます好きになりました。

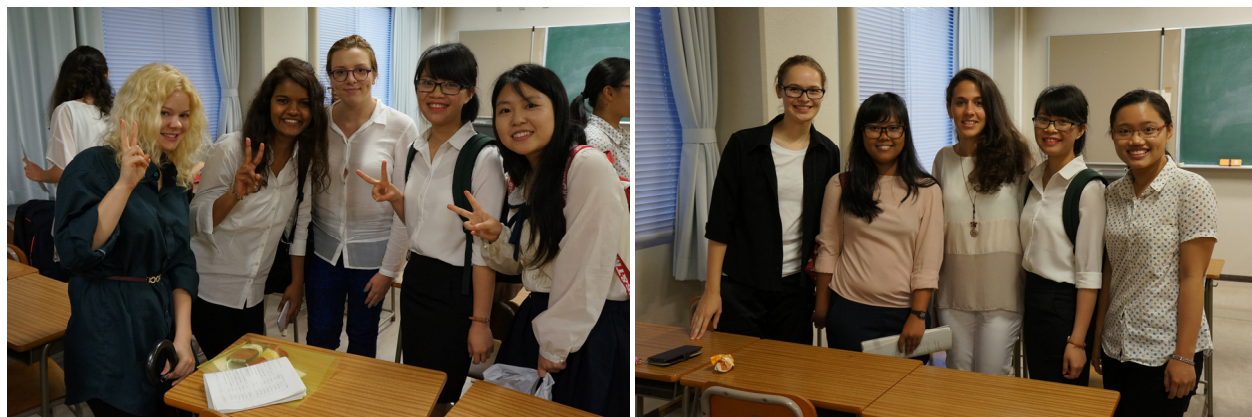
2. 現在、私はプラハのカレル大学の学部課程に籍を置いており、日本研究学科開講の修士課程向けの授業を受けつつ、卒業論文を書いています。日本で行った研究が卒業論文を書く際に非常に役に立っています。勉強の傍ら、ホテルの受付でアルバイトをしています。日本人のお客さんもいるので、日本語が使えます。この一年間で日本語の能力がだいぶ上達しました。母語で話し掛けられると、日本人のお客さんが嬉しそうです。

■ 思い出のワンショット

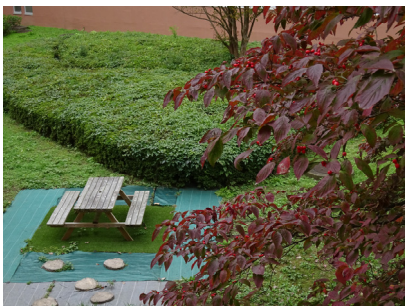
2015 年 9 月 30 日 2015 年度日研生オリエンテーション



2016 年 7 月 13 日 日研生論文最終発表会



2016 年 9 月 9 日 2015 年度日研生修了祝賀パーティー



2016 年 10 月 30 日

日本語・日本文化学類事務室の傍にあるハナミズキは、
今年の秋も綺麗に色づきました。

いつでも皆さんのお帰りをお待ちしております。

「日研生 E-だより」も第 11 号になりました。皆さんからのお便りをお待ちしております。

筑波大学 日本語・日本文化学類

HP <http://www.japanese.tsukuba.ac.jp/>

Twitter @Nichinichi

Facebook <http://www.facebook.com/tsukuba.nichinichi>



kondo.shizuka.gb@un.tsukuba.ac.jp

soo.woon-kuen.gp@un.tsukuba.ac.jp

※メールアドレスが変更になった際にはお知らせください。